

# 宇治市教育委員会臨時会会議録

日 時 令和6年2月27日（火） 午後6時00分 開議

場 所 宇治市役所 602会議室

## 会 議 日 程

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 議案第3号 令和6年度宇治市教育の重点を策定するについて

日程第3 議案第4号 教職員を任免するについて

会議に付した事項 会議日程に同じ

### 出席者

教 育 長 木 上 晴 之

(教育委員)

教育長職務代理者 加賀爪 毅

委 員 中 筋 斉 子

委 員 小 山 栄 子

委 員 左 聡 一 郎 (オンラインによる出席)

(出席職員職氏名)

部 長 福 井 康 晴 副 部 長 上 道 貴 志

教育支援センター長 林 口 泰 之 生涯学習課長 前 田 紘 子

学校教育課長 岡 野 健 太 郎 教育総務課副課長 渡 邊 聖 介

生涯学習課副課長 野 口 雅 史 学校教育課副課長 土 井 加 津 美

(書記職員職氏名)

教育総務課企画庶務係長 稲 垣 大 祐 教育総務課主査 北 池 顕 子

教育総務課主事 西 村 結 衣

開 会 (午後6時00分)

○開会宣言 教育長が2月教育委員会臨時会議の開会を宣言する。

○日程第1 会議録署名委員の指名について

教育長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、中筋委員を指名する。

○日程第2 議案第3号 令和6年度宇治市教育の重点を策定するについて

[説明]

本件は、2月5日開催の定例教育委員会協議会において「案」を示し説明しており、委員の皆様からの貴重なご意見を踏まえ、本日、提案をするものである。

この「宇治市教育の重点」については、本市の各小中学校・園による教育や社会教育の進捗状況を把握し、本市教育の重点事項を示すとともに、教育活動の指針とするため策定するものである。令和6年度の重点については、京都府教育委員会において示されている「第2期京都府教育振興プラン」及び「第2次宇治市教育振興基本計画」の基本理念等を踏まえた内容としている。別紙1を案として、本編と資料編を示している。また別紙2では、この間にいただいたご意見等を受けて、変更等を行った内容について示している。別紙1に示すように、本編を8ページからなるリーフレット型、そして本編を補足する資料編として冊子型に作成しており、今年度と同様に、資料編をデータ化し、本編に記載する二次元コードからも読み取れるようにしていく。

本編の内容については、まず表面中央に「宇治市教育の方針」を記載し、「第2次宇治市教育振興基本計画」の計画推進の視点を掲載し表現している。次に、「学校教育の重点取組事項」「社会教育の重点取組事項」では、特に令和6年度の重点取組事項として、テーマを掲げ、テーマごとに取り組む内容を示し、学校等において作成される経営計画にも反映されることを期待した内容・表記としている。「学校教育の重点取組事項」においては「学力の充実・向上」「不登校対策の充実、いじめ対策の推進」「インクルーシブ教育の推進」「保幼小連携・接続の推進」についてそれぞれ整理しており、「社会教育の重点取組事項」においては、「家庭・学校・地域の連携・協働促進」「生涯学習環境の充実」「図書館サービスの充実」「歴史と文化の継承・活用」について整理している。見開きページについては、「保幼小連携から小中一貫教育で培う『学びと育ちの連続性』による人づくりビジョン」として幼児期から小中一貫教育において身に付けたい力が見えるよう作成した。内側のページには、学校教育の重点と社会教育の重点を具体的に記載している。

続いて資料編であるが、構成については令和5年度をベースに加筆修正しており、本編を補足するものとして、それぞれの取組主旨や考え方等を示している。

[討論]

[委員] 従来の6ページから8ページに紙面が増え、情報量も増えており、教育の指針としてダイジェストで見るとは非常に良くなったのではないかとと思う。情報量が多すぎると読みにくいということがあるかもしれないが、これくらいはあっても良いと思う。教育のプロである先生が読むので、しっ

かりと見て、宇治市の教育に役立ててほしい。もちろん資料編も併用しながら。キャリアアップにもつながり、子どもたちへの指導にも役立つと思う。(印刷物の)色づかいも明るくなって良くなり、だいぶ改善もされて良いと思う。

[委員] 「学力の充実・向上」は大事なことだが、それ以外に「不登校対策の充実・いじめ対策の推進」や「インクルーシブ教育の推進」が同じレベルで見開きに上がってきているのはうれしく、宇治市の教育の方向性が出ているような印象があり、ぜひ大事にしていきたいと思う。特に「インクルーシブ教育の推進」でこれだけ支援が必要な子どもが増えているという数字も出ており、先生方の意識の中で、通常学級の中での支援のあり方を考えるという視点を持っていただけるのでは。良いリーフレットになっていると思う。

[委員] 表紙の「子育て」だけ3文字だが、できれば文字の大きさを他の4つと同じ大きさにするほうがよいと思う。

[委員] 「子育て」ではなく「子育て」なのか。

[事務局] 「第2次宇治市教育振興基本計画」の「計画推進の視点」の1つなので、「子育て」となる。

[委員] 表紙はわかりやすくなっているが、写真がもう少し大きい方が載せる意味があるのではと思う。

[採決] 採決の結果、全会一致で可決する。

### ○日程第3 議案第4号 教職員を任免するについて

教育長より、本件は人事の案件であるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により非公開とする旨の提案があり、全会一致で決定する。

#### [説明]

本議案は、定期人事異動に伴う府費負担教職員の管理職の任免について、府教育委員会に内申するため、宇治市教育委員会事務委任等に関する規則第2条第1項第1号に基づき提案するものである。

令和5年度末から、定年延長制度が実施されることに伴い、令和5年度末60歳の教職員は、1年延長されて61歳が定年年齢となる。また、令和5年度末59歳の教職員の定年年齢は62歳に、58歳の定年年齢は63歳に、57歳の定年年齢は64歳に、56歳以下の定年年齢は65歳となる。

令和5年度末で60歳となるのは、宇治小学校 安田校長、宇治中学校 不破校長、槇島中学校 平岡校長、西小倉中学校 上田校長、西宇治中学校 中井校長の5人であり、そのうち宇治小学校 安田校長と宇治中学校 不破校長が定年延長で、引き続き令和6年度も校長職を続けることとなる。また、槇島中学校 平岡校長と西小倉中学校 上田校長は退職だが、西宇治中学校 中井校長は、定年延長で教諭となる。なお、令和5年度末61歳以上の校長は再任用も可能だが、北小倉小学校 市橋校長と平盛小学校 浦田校長が、引き続き令和6年度も校長職を続けることとなる。

小学校長人事としては、現北小倉小学校長 市橋公也、現平盛小学校長 浦田雅彦を再任用退職とする。次に、菟道第二小学校長の後任として現木幡小学校長 藤田祥尚、槇島小学校長の後任として現北槇島小学校長 吉田周晃、北槇島小学校長の後任として現菟道第二小学校長 俣野岳、木幡小学校長の後任として現京都府保健体育課指導主事兼副課長 田中和枝、笠取小学校長の後任として現笠取第二小学校長 大川透、笠取第二小学校長の後任として現槇島小学校長 小槌晶乃を転補する。次に、現宇治小学校兼黄檗中学校長 安田善一の異動期間を延長する。次に、北小倉小学校長として市橋公也、平盛小学校長として浦田雅彦を再任用更新する。

中学校長人事としては、現槇島中学校長 平岡順一、現西小倉中学校長 上田智子を普通退職とする。次に、現木幡中学校長 武田義博を形式退職とし、宇治市教育委員会教育部教育支援センター長として京都府教育委員会から割愛する。次に、槇島中学校長の後任として現笠取小学校長 杉本清彦を転補する。次に、西小倉中学校長の後任として現黄檗中学校兼宇治小学校副校長 齋藤英司、西宇治中学校長の後任として現東宇治中学校教頭 加藤洋之、木幡中学校長の後任として現宇治市教育委員会教育部教育支援センター長 林口泰之、京都府学校教育課総括指導主事として現広野中学校教頭 菊井雅志を採用する。次に、現宇治中学校長 不破真紀の異動期間を延長する。次に、現西宇治中学校長 中井良幸を降任する。

副校長人事としては、黄檗中学校兼宇治小学校副校長の後任として現宇治市教育委員会教育部学校教育課副課長 土井加津美を採用する。

小学校教頭人事としては、現菟道第二小学校教頭 澤山恵美を普通退職とする。次に、現御蔵山小学校教頭 葛山雅を形式退職とし、宇治市教育委員会教育部学校教育課総括指導主事として京都府教育委員会から割愛する。次に、小倉小学校教頭の後任として現京都教育大学准教授 中下和之を転任する。次に、菟道小学校教頭の後任として現小倉小学校教頭 永島律子、菟道第二小学校教頭の後任として現菟道小学校教頭 吉野美穂子、神明小学校教頭の後任として現西小倉小学校教頭 奥山紀子、槇島小学校教頭の後任として現大久保小学校教頭 瀬戸俊輔、伊勢田小学校教頭の後任として現西大久保小学校教頭 瓜生貴士、西小倉小学校教頭の後任として現伊勢田小学校教頭 大空幸恵、南小倉小学校教頭の後任として現槇島小学校教頭 山田健、西大久保小学校教頭の後任として現北小倉小学校教頭 千々岩香織、宇治小学校教頭の後任として現南小倉小学校教頭 向井毅、南部小学校教頭の後任として現神明小学校教頭 福田健司、御蔵山小学校教頭の後任として現笠取第二小学校教頭 帆足慶信を転補する。次に、北小倉小学校教頭の後任

として現北小倉小学校主幹教諭 青野裕平、大久保小学校の後任として現大久保小学校主幹教諭 樋口徹、笠取第二小学校教頭の後任として現笠取第二小学校教諭 赤野良英を昇任する。なお、宇治小学校 坂教頭と南部小学校 飯田教頭は、それぞれ京都教育大学と山城教育局に異動するが、内申は不要となっている。

中学校教頭人事としては、現榎島中学校教頭 石田京美を普通退職とする。次に、榎島中学校教頭の後任として現宇治中学校主幹教諭 岩井佳慧、広野中学校教頭の後任として現北宇治中学校教諭 酒井康輔、東宇治中学校教頭の後任として現黄檗中学校主幹教諭 堂本博之を昇任転補する。

[質 疑]

[委 員] 医療的ケア部会の担当は学校教育課の副課長だったが、来年度は誰になるのか。

[事務局] 市教委の人事はこれからで、学校教育課の管理職が担当することになる。

[委 員] 西小倉小中一貫校の開校に向けてのシフトは組んでいるのか。

[教育長] 現黄檗中の齋藤副校長は小中一貫校の経験があり、西小倉中学校長となる。

[委 員] この人事が公表されるのは3月中か。

[教育長] 府教委の議決を経てそれぞれの教職員に内示が3月中にあり、完全に公表されるのは4月1日の新聞である。

[討 論] なし

[採 決] 採決の結果、全会一致で可決する。

○閉会宣言 教育長が2月教育委員会臨時会の閉会を宣言する。

閉 会 (午後6時30分)